

令和3年12月1日 令和3年第1回臨時会
副議長選挙に係る所信表明

飛鷹 裕輔 議員

日本共産党、飛鷹裕輔です。私は、副議長として議長を補佐し、公平・公正な議会運営に努め、市政の監視役として議会が役割を果たすよう力を尽くしてまいります。新型コロナウイルス感染症の完全な終息が見えない中、立候補に当たり、議会が取り組むべきことを数点お話しし、所信表明といたしたいと思っております。

今、憲法の理念に基づき、国や行政が責任をもって市民の命と健康を確保する施策、予算を速やかに実行することが必要です。このような政治情勢の下、四国中央市も地方自治体として主体性を発揮することが求められます。同時に、市議会も新型コロナ対策に会派を超えて一丸となって取り組めるよう、私は議会の取りまとめに力を尽くします。

また、二元代表制の下、地方自治体の自主性、独立性を発揮して、国に対等平等に意見を上げるためにも、本市議会の果たす役割はますます重要です。

住民の安全、健康、福祉の保持という地方自治体が果たすべき役割を発揮するよう、議会のチェック機能や政策立案機能を発揮し、公平・公正な議会運営に努め、活発な議論の展開と、市民に開かれた議会を実現します。そのために、私は二つの重要課題を挙げたいと思っています。

一つ目は議会公開、情報公開を一層進めることです。選挙投票率は低く、半数近い市民が投票しないという選挙もあります。市民が選挙に参加しない、参加する必要性を感じられないことは深刻です。主権者である住民への会議の公開は民主政治には必要であり、ケーブルテレビ中継やネット配信で公開を進めます。また、市民により分かりやすい議会だよりの発行、委員会の質疑内容も掲載できるよう改善が必要です。

二つ目は、議会は執行機関と緊張感ある関係を保ちつつ、議会での質疑等で市民意見を反映させる重要な役目があります。そのためにも、本会議質問の時間制限の見直しを行い、必要に応じて議会日数の追加など、十分な審議ができるようにすることです。

以上の提案を、皆さんと民主的な合意を図りながら進めてまいります。議員各位の御賛同をお願い申し上げ、所信表明といたします。